

西福寺と浄性庵

《長沼》

那智山福聚院西福寺、一説には、智門山正蓮院ともいう。梓衝長楽寺の末寺であつた。信濃町の北西の地にあつた。本尊は金剛、昭藏界、兩部大日如来で、開山は、社真僧都、開基は阿蘇沼庄司、戸上平十郎、法名、福聚院殿で、年代は不明である。

のちにこの寺の跡に、浄性庵が建てられた。本尊は地藏菩薩、脇仏、十九夜如意輪観音であつた。岩瀬地藏尊札所第四番で、

いそげ人ちかひのふねに長沼の

浄性庵ののりのともしび

の歌が残されている。

旧長沼瀬戸焼窯跡に、今も石碑が二、三基残つていて、わずかにその面影をとどめている。

(「長沼名義考」より)

正行寺

《長沼》

念仏堂鞍見山正行寺は、浄土宗芝増上寺の末寺で、信濃町の北西の地、西福寺の西続にあつたという。この寺は、長沼城隆盛の時、殿の側室、阿梅の方が手打ちになり、その怨霊が幽となつてさまよつ